

# 委員会の動き

## ○総務産業建設常任委員会

総務産業建設常任委員会調査報告書

総務産業建設常任委員長 佐藤 徳治

平成25年10月31日に町内道路の調査を行った。



林道楮佐古小松曾線豪雨被災現場

町道小松曾線は、総延長9,866.83メートル（内未舗装4,770.52メートル）、幅員4メートル、林道楮佐古小松曾線総延長2,127メートル（内未舗装2,127メートル）、幅員4メートル、町道谷相線総延長7,218.29メートル（内未舗装2,927.68メートル）、幅員4メートルを踏査した。

林道楮佐古小松曾線は、大雨による路面損傷が著しく通行止め、また、町道谷相線も国直轄によるカシケ谷砂防堰堤工事を施工しており、平成26年夏頃まで通行止めとなっているが、迂回路として町道谷相第二線がある。3路線とも未舗装箇所があり、未舗装箇所を全て舗装するための概算事業費は、町道小松曾線8,300万円、林道楮佐古小松曾線4,000万円、町道谷相線4,700万円である。この3路線全てを早急に舗装することは財政的に困難であると推測するが、木材の運搬等に支障をきたしており、一日でも早く通行ができるよう維持修繕を望む。

# 委員会の動き

## ○教育民生常任委員会

教育民生常任委員会調査報告書

教育民生常任委員長 西村 正尚

平成25年10月22日に文化財に関する調査を行った。



永瀧神楽（永瀧神社境内）

本町には、数多くの史跡や有形無形の文化財が現存している。まさに歴史とロマンの里の名にふさわしい郷土と言え、これらを守り育て継承されてきた先人のご努力、関係各位の文化財保護に対するご尽力には感謝を申し上げる次第である。

杉の大スギは、倒伏防止・樹勢回復の再生工事も竣工、さらに見学用棧道の改修工事も発注され、杉の大スギの管理及び来客者に対するサービスの向上が図られている。

旧立川番所書院は、平成14年度屋根葺き替え工事を行っているが、11年が経過し一部屋根の痛みが生じており、数年後

には葺き替え工事が必要と思慮されることから、財源の確保等、今後検討を願うものである。

永瀧神楽は、神社の境内で行われ、手面をかぶり、楽器は太鼓、鉦拍子で曲芸的な所作を展開するこの神楽には、芸能以前の古い名残を感じた。国指定・無形民俗文化財である岩原・永瀧神楽を後生に継承するためには、後継者対策など課題、加えて各地域での公演に対する行政のソフト支援策を検討願うものである。

我々には、先達の叡智によって築き上げられ、守られてきた文化財をはじめとする文化遺産を受け止め、後世代に継承する責務があるとともに、その活動を通して新しい文化を創造すること、加えて町づくり、愛されるふるさとづくりの役割を担っていると看做すことも過言でない。

## 編集後記

平成も四半世紀を経過し、心新たに平成26年を迎えました。町民の皆さまには穏やかな新年をお迎えのことと存じます。

昨年「高知おおとよ製材」が操業し、いよいよ大豊の森が満を持して動き出す第一歩が記されました。原木価格対策の波及効果が町内全体に浸透し、更には嶺北地域、高知県へと広がっていくことを期待するものです。議員任期も後一年余を残すのみとなりました。悔いを残さぬよう、大豊の未来につながる議会活動に精励する所存です。今年一年どうかよろしくお願ひ申し上げます。

記 佐藤 徳治



高知県森連（嶺北木材共販所）

## 議会からのお知らせ

都築正光議長、高知人づくり広域連合議会議員、高知県後期高齢者医療広域連合議会議員に当選

都築正光議長が、11月13日、両議会議員に当選されました。県内の様々な団体等の要職につき、大変多忙の中、本町をはじめ高知縣市町村等のため更なるご活躍をお祈りします。



【ご意見やご感想は】  
大豊議会事務局

電話 72-0450（代表）まで

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 三谷幸一郎 |
| 副委員長 | 小川智也  |
| 委員   | 前野由和  |
| 委員   | 佐藤徳治  |
| 委員   | 都築正光  |

広報編集特別委員会